

# 4月5日(日)～5月4日(月・祝) 満月セレクト

— 今回のセレクトター ご紹介 —

Music Selector : Nick Luscombe (ニック・ラスコム)



Nick Luscombe  
(ニック・ラスコム)

イギリス出身。10代のころからDJを始め、BBC「レイト・ジャンクション」に定期的に出演。その後はロンドンのICA(現代芸術協会)の音楽監督を始め、iTunes Europeの音楽編集長もつとめる。2000年からは、イギリスのXFMで番組「Flomotion(フロモーション)」を開始し、エレクトロニカ、ジャズ、ソウル、フォークなど、幅広い音楽をミックス感覚で発信している。この番組は、世界のさまざまな国でも聴かれている。

## 今回のセレクトCD

1.



**Azimuth / Azimuth** (Far Out FAR0117CDX)

ブラジルのジャズ・ファンク・グループ、アジムスの伝説的なデビュー・アルバム。1975年に発売されたものだが、最近になって再発された。40年経った今でも、演奏も音作りも非のうちどころがなく素晴らしい。

2.



**We'll Make It Right / House** (Dox Records DOX213)

オランダのご機嫌なポップ・グループ「ウィル・メイク・イット・ライト」。彼らは自分たちのことをあえて「light(軽めの音楽)」と言っている。寒かった冬のあとの、爽やかな春にぴったりの一枚。

3.



**Michelle Shaprow / Earth One** (P-VINE PCD-20343)

かっこよくて、風変わりなミシェル・シャプロウが、またまた素晴らしい音楽を聴かせてくれている。

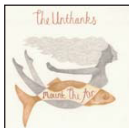
4.



**Josh Rouse / 1972** (Ryko RCD10641)

ジョシュ・ラウスの力の抜けた自然な歌い方は、ほんとうにすばらしい。曲そのものと編曲の良さが、その歌い方をさらに生かしていると言える。彼は数多くの素晴らしい曲を作っているが、このアルバムはその中でも僕のお気に入りの一枚だ。

5.



**The Unthanks / Mount The Air** (Rabble Rouser Music RRM013)

ジ・アンサンクスの「マウント・ジ・エア」は、今のところ、僕が2015年で最も好きな一枚と言えるかもしれない。ちょっとモダンな響きの、イギリスの美しいフォーク・ミュージック。